

事務事業名	湘南台地域まちづくり事業費										担当課	部課名	市民自治部湘南台市民センター			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	10	課等の長	大久保 敬一	電話	6294

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性や個性を生かしながら、各地区でそれぞれの事業に取り組むもの。						
事業目的及び必要性	湘南台地区地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」の実現に向けて、地域主体の事業を展開することで、郷土愛あふれるまちづくりが推進されるため必要である。						
対象	1. 個人	市民(湘南台地区)				32,727	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 湘南台地区文化創造推進協議会)						
	(委託等内容 : 湘南台駅地下イベント広場活用運営等事務委託)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名				指針体系コード			
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進				4-3-141			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
市民の意識が高く市民参加型の地域づくりが進んでいること			2.79 点	2.91 点	2.88 点	2.89 点	
			点	点	点	点	

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	報償費	10 千円	「ようこそ先輩in湘南台」講師謝礼
	需用費	42 千円	「緑の回遊路事業」消耗品
	委託料	250 千円	「文化創造事業」湘南台駅地下イベント広報活動用運営等業務委託
302 千円			
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	15 千円	「ようこそ先輩in湘南台」講師謝礼
	需用費	2,731 千円	「緑の回遊路事業」消耗品, 湘南台駅地下イベント広場修繕等
	委託料	700 千円	「文化創造事業」湘南台駅地下イベント広報活動用運営等業務委託
	工事請負費	20,713 千円	湘南台駅地下イベント広場整備
33,562 千円	負担金補助及び交付金	9,403 千円	「子育てネットワーク事業」活動支援補助, 湘南台駅地下アートスクエア壁画作成・設置費用補助金

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	2.50	3.00	3.00	2.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.41	0.16	0.16	0.24人工
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	
合計	2.91人工	3.16人工	3.16人工	2.74人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				0.60人
---------------	--	--	--	-------

3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	①ようこそ先輩in湘南台事業:先輩講師3人による中学生との交流事業を3月に実施した。 ②緑の回遊路事業:事業実施に向けて検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 ③文化創造事業:湘南台の地域性や特性を活かし、地下イベント広場の有効活用を図るため「ビック錠とその仲間たち・PART4『味平まつり』」を規模縮小して開催した。「子育て応援メッセ」、「七夕まつり」に関しては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。						
	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
成果目標	湘南台子育て応援メッセの来場者数	人	700	700	700	700	
	地域の縁側事業の利用者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	
	湘南台七夕まつり来場者数	人	17,000	18,000	19,000	19,000	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考
	湘南台子育て応援メッセの開催	回	1	1	1	-	
	ちょこっと湘南台の開所日数	日	233	234	230	119	
	湘南台七夕まつり実行委員会の開催	回	3	3	2	-	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	湘南台子育て応援メッセの来場者数	人	800	800	800	-	
	地域の縁側事業の利用者数	人	2,035	1,963	1,704	321	
	湘南台七夕まつり来場者数	人	18,000	19,000	20,000	-	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	25,777	31,876	30,634	23,790
	(1)現金を伴う支出 (千円)	27,417	30,639	30,608	25,310
	事業費(支出済額)	1,170	1,174	848	302
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	26,247	29,465	29,760	25,008
	①常時勤務職員等の給与等	25,128	28,057	28,027	22,655
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,000
	③退職金相当額	1,119	1,408	1,733	1,353
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,640	1,237	26	-1,520
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-1,640	1,237	26	-1,520
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
	行政収益(事業収入) B	2,178	2,178	2,197	2,217
(3)現金を伴う収入 (千円)	2,178	2,178	2,197	2,217	
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
③国庫支出金	0	0	0	0	
④県支出金	0	0	0	0	
⑤その他()	2,178	2,178	2,197	2,217	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0	
収支差額(純費用) A-B E	23,599	29,698	28,437	21,573	
分析指標	項目	18,000	19,000	20,000	-
	湘南台七夕まつり来場者数 F	単位 人	単位 人	単位 人	単位 人
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	1,432.06	1,677.68	1,531.70	-
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	55.20 427,501	69.17 429,317	65.67 433,060	49.58 435,121
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	地域の高齢化が進んでいる。 地区の担い手不足により、地区内でボランティア活動する方が少ない。
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	地域の方向けに気軽に参加できる事業を実施し、地域活動に興味を持ってもらう。
(3) 令和2年度末時点の課題	地域で活躍する方の高齢化が進んでいる。 地区における担い手不足により、地区内でボランティア活動する方が少ない。 また、湘南台駅地下アートスクエア整備事業についてスムーズに進めていくために、運営委員会や郷土づくり推進会議との情報共有及び連絡調整が必要である。
(4) (3)解決のための今後の取組	若年層でも地域活動へのきっかけづくりとなるようなイベント(機会)提供をする。 湘南台駅地下アートスクエア整備事業について、定期的に関係団体等や庁内関係課との情報共有、連携強化を図る。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
	<input type="radio"/>	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	<input type="radio"/>	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和2年度支出済額	
		<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		<input type="radio"/>	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合			
<input type="radio"/>		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	郷土づくり推進会議をはじめとした各種地域団体において担い手となる人材の高齢化が進んでいる現状がある。現役世代においては、共働き世帯の増加などから地域活動への参加が難しい状況が深刻化している。	
	地域と行政が協働し、まちづくりへの取組を進めている事例もある。	
市民ニーズ	把握方法	地区全体集会での意見、要望、及びアンケート調査等 (令和2年度地区全体集会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止)
	把握内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、公共施設等について ・地域コミュニティについて
	対応等	業務主管課と連携を取りながら、意見、要望等に対応

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域まちづくりとして今まで行ってきた事業をしっかりと検証し、新たな方向性に向けた協議を行っていく必要がある。	
	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	郷土づくり推進会議において、これまでに実施した地域まちづくり事業を総括、検証し新たな事業の展開や進め方についてさらに協議を進める。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	郷土づくり推進会議の選定について	無	無	1	1
2	郷土づくり推進会議の開催について	無	無	1	2
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連携調整	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	平井 護	確認日	2021/8/3
----	-------	----	------	-----	----------